LIXIL フーゴR/ネスカR ワイド 基本・縦連棟

取付説明書

・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

記号	内容
⚠注 意	・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	・取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

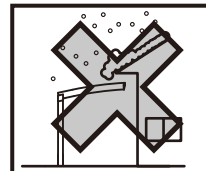
※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞

⚠注 意

・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
・当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
・積雪（新雪）20cmを超えない地域に設置してください。
・建物の屋根から落雪を直接受けない位置に設置してください。
・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
・給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。
排気による中毒のおそれがあります。

・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。

・一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認をしてから施工を行なってください。

お願い

・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
・給湯器や暖房機等の熱排気が製品に当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
・施工場所に寸法的に正しく納まるかどうか確認してください。

＜基礎工事について＞

⚠注 意

・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず砕石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。
柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系強アルカリのコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。
使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

お 願 い

・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。
シミやムラ等の外観不良の原因になります。

＜施工上のご注意＞

⚠注 意

・「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に竪樋を取付けると、表示が見えなくなり、正しく注意を促すことができなくなります。
竪樋を取付けない側に使用してください。
・アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
・水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
・シリコーンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
東レ・ダウコーニング（株）	SE960

・製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
　※φ4ネジ：2.5N·m±0.5N·m（25±5kgf·cm）
　※φ5ネジ：3.0N·m±0.5N·m（30±5kgf·cm）
　※M8ボルト　：20.0N·m±0.5N·m（200±5kgf·cm）

お 願 い

・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
※作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
　特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。

＜施工の後に＞

⚠注 意

・ボルト、ネジを増し締めしてください。

お 願 い

・取扱説明書は施主様にお渡しください。

INDEX

表示マーク

独立基礎で施工の場合

土間コンクリートで施工の場合

偏芯基礎部材を使用して施工の場合

柱位置を移動して施工の場合

柱を内側位置に移動して施工の場合

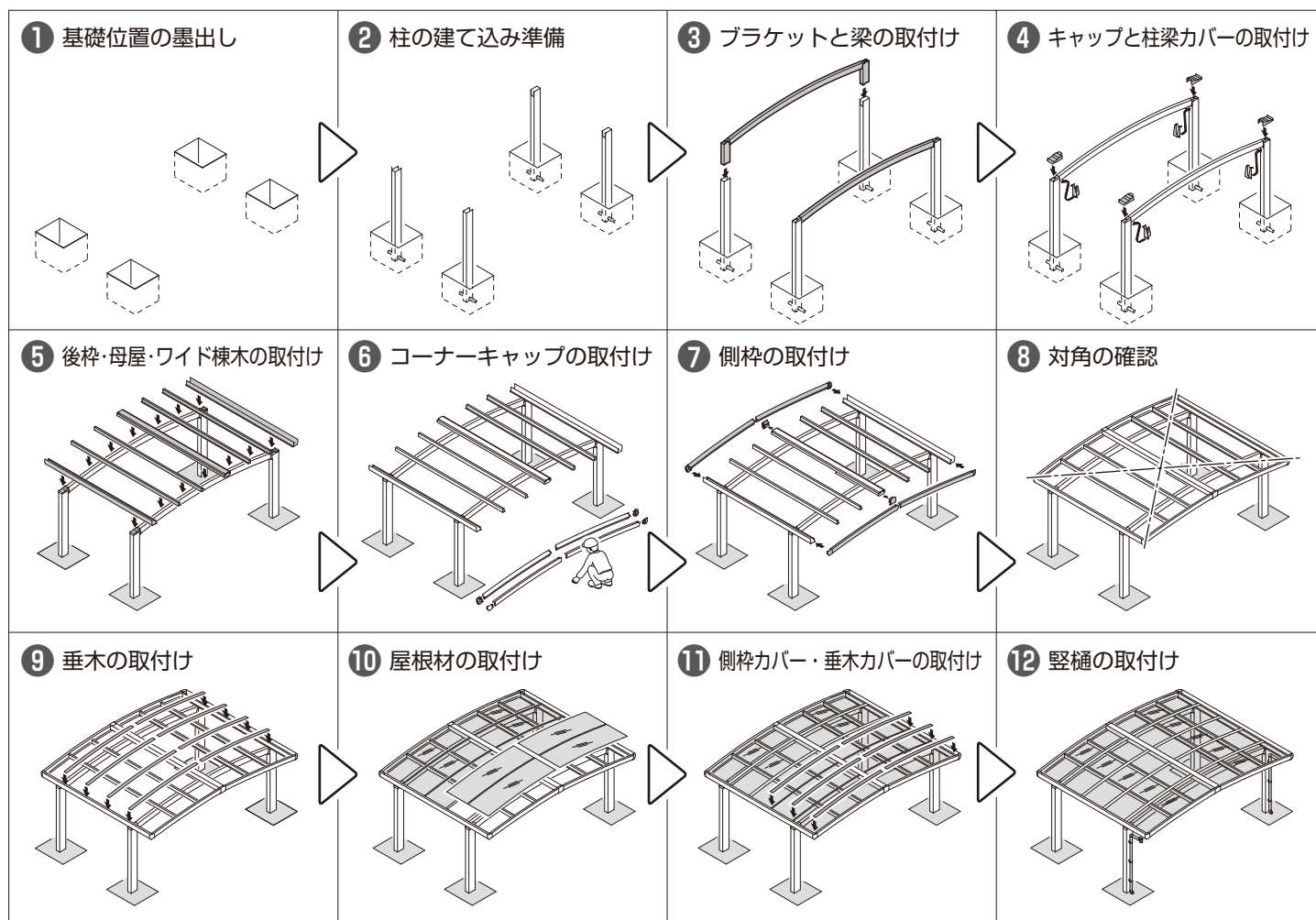
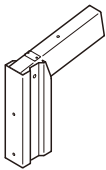
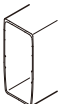
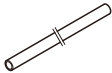
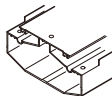
縦連棟

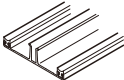
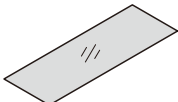
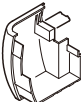
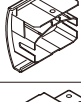
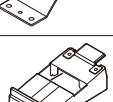
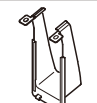
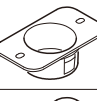
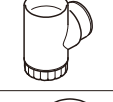
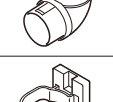
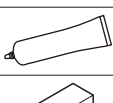
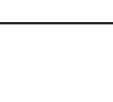
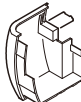
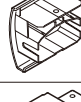
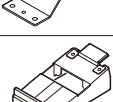
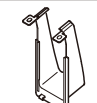
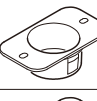
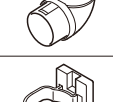
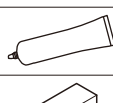
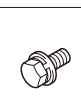
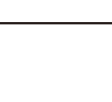
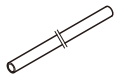
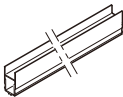
「14延長」または「縦連棟」を施工の場合

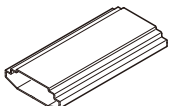
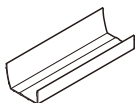
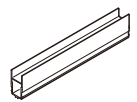
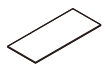
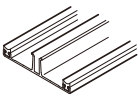
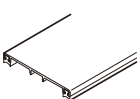
オプション製品

シーリング箇所

施工の流れ

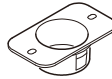
1. 基礎位置の墨出し
2. 柱の建て込み準備
3. ブラケットと梁の取付け
4. キャップと柱梁カバーの取付け
5. 後枠･母屋･ワイド棟木の取付け
6. コーナーキャップの取付け
7. 側枠の取付け
8. 対角の確認
9. 垂木の取付け
10. 屋根材の取付け
11. 側枠カバー・垂木カバーの取付け
12. 竪樋の取付け

梱包明細表

※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

【1】柱セット		員数	
名称	略図	1 本入	2 本入
柱		1	2

【2】ブラケットセット		員数
名称	略図	2 本入
ブラケット		2

【3】梁セット		員数	
名称	略図	1 本入	2 本入
梁		1	2

【4】長さセット		員数					
名称	略図	W36・42		W48～54		W60	
		L14	L50·54·57	L14	L50·54·57	L14	L50·54·57
後枠		1	1	1	1	1	1
母屋		2	2	3	3	4	4
竪樋φ 40 L=3500		–	1	–	1	–	1

【5】ワイド棟木セット		員数
名称	略図	1 本入
ワイド棟木		1

【6】幅セット		員数		
名称	略図	L50	L54	L57
側枠		左右各 1	左右各 1	左右各 1
側枠カバー		2	2	2
垂木		6	7	7
垂木カバー		6	7	7

【7】屋根材セット		員数			
名称	略図	1 枚入	2 枚入	3 枚入	4 枚入
屋根材		1	2	3	4

【8】部品セット（フーゴ）		員数					
名称	略図	W36～54			W60		
		L14	L50	L54･57	L14	L50	L54･57
後枠コーナーキャップR [部品番号] 629879		−	2	2	−	2	2
後枠コーナーキャップL [部品番号] 629878		−	2	2	−	2	2
ワイド棟木キャップ		−	2	2	−	2	2
ワイド棟木取付金具		1	2	2	1	2	2
柱キャップ		2	4	4	2	4	4
柱梁カバー		2	4	4	2	4	4
アンカー棒 φ8×200		2	4	4	2	4	4
穴隠しシール φ10		20	40	40	24	48	48
雨樋アタッチメント		2	2	2	2	2	2
雨樋穴塞ぎキャップ		2	2	2	2	2	2
雨樋パッキン		4	4	4	4	4	4
ドレンエルボ φ40用		2	2	2	2	2	2
92°エルボ φ40用		4	4	4	4	4	4
でんでん		6	6	6	6	6	6
接着剤		1	1	1	1	1	1
パネル緩衝材		16	48	48	16	56	64
【8-1】 M8×20六角ボルト（平座金･緩み止め付き）		12	24	24	12	24	24
【8-2】φ5×12 トラスタッピンネジ3種		140	456	504	156	512	566
【8-3】φ4×13 ナベドリルネジ		6	6	6	6	6	6
取付説明書 (D590)	−	−	1	1	−	1	1
取扱説明書 (UD125)	−	−	1	1	−	1	1

【8】部品セット（ネスカ）		員数					
名称	略図	W36～54			W60		
		L14	L50	L54･57	L14	L50	L54･57
後枠コーナーキャップR [部品番号] 629879		−	2	2	−	2	2
後枠コーナーキャップL [部品番号] 629878		−	2	2	−	2	2
ワイド棟木キャップ		−	2	2	−	2	2
ワイド棟木取付金具		1	2	2	1	2	2
柱キャップ		2	4	4	2	4	4
柱梁カバー		2	4	4	2	4	4
アンカー棒 φ8×200		2	4	4	2	4	4
穴隠しシール φ10		20	40	40	24	48	48
雨樋アタッチメント		2	2	2	2	2	2
雨樋穴塞ぎキャップ		2	2	2	2	2	2
雨樋パッキン		4	4	4	4	4	4
ドレンエルボ φ40用		2	2	2	2	2	2
92°エルボ φ40用		4	4	4	4	4	4
でんでん		6	6	6	6	6	6
接着剤		1	1	1	1	1	1
パネル緩衝材		16	48	48	16	56	64
【8-1】 M8×20六角ボルト（平座金･緩み止め付き）		12	24	24	12	24	24
【8-2】φ5×12 トラスタッピンネジ3種		99	296	324	124	384	422
【8-3】φ4×13 ナベドリルネジ		6	6	6	6	6	6
取付説明書 (D590)	−	−	1	1	−	1	1
取扱説明書 (UD125)	−	−	1	1	−	1	1

【9】竪樋セット		員数	
名称	略図	L=3100	L=1000
竪樋 φ40		1	1

【10】柱移動補強材セット オプション		員数
名称	略図	
母屋補強材(L=2000)		1
【10-1】φ5×13 ナベドリルネジ		4

【11】柱移動用部品セット オプション		員数
名称	略図	
直線ジョイナー(φ40)		1
直線ジョイナー(φ60)		1
ワイド棟木補強材		1
【11-1】φ4×13 ナベドリルネジ		8

【12】連棟部材セット オプション		員数	
名称	略図	W36～54	W60
ワイド棟木スリーブ		1	1
後枠スリーブ		2	2
母屋スリーブ		6	8
ワイド棟木止水パッキン		1	1
【12-1】φ4×13 ナベドリルネジ		88	105

【13】連棟幅セット オプション		員数		
名称	略図	L50	L54・57	L14
垂木		7	8	2
垂木カバー		7	8	2

【14】ドレンエルボセット オプション		員数
名称	略図	
ドレンエルボ φ40用		1

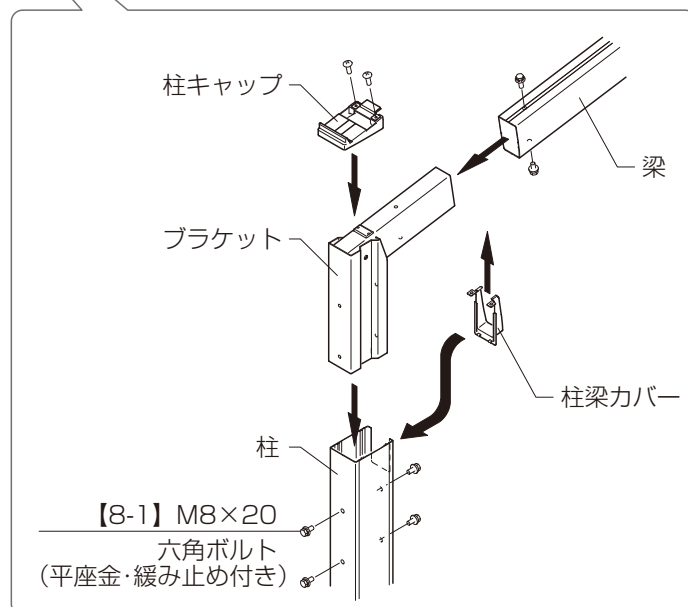
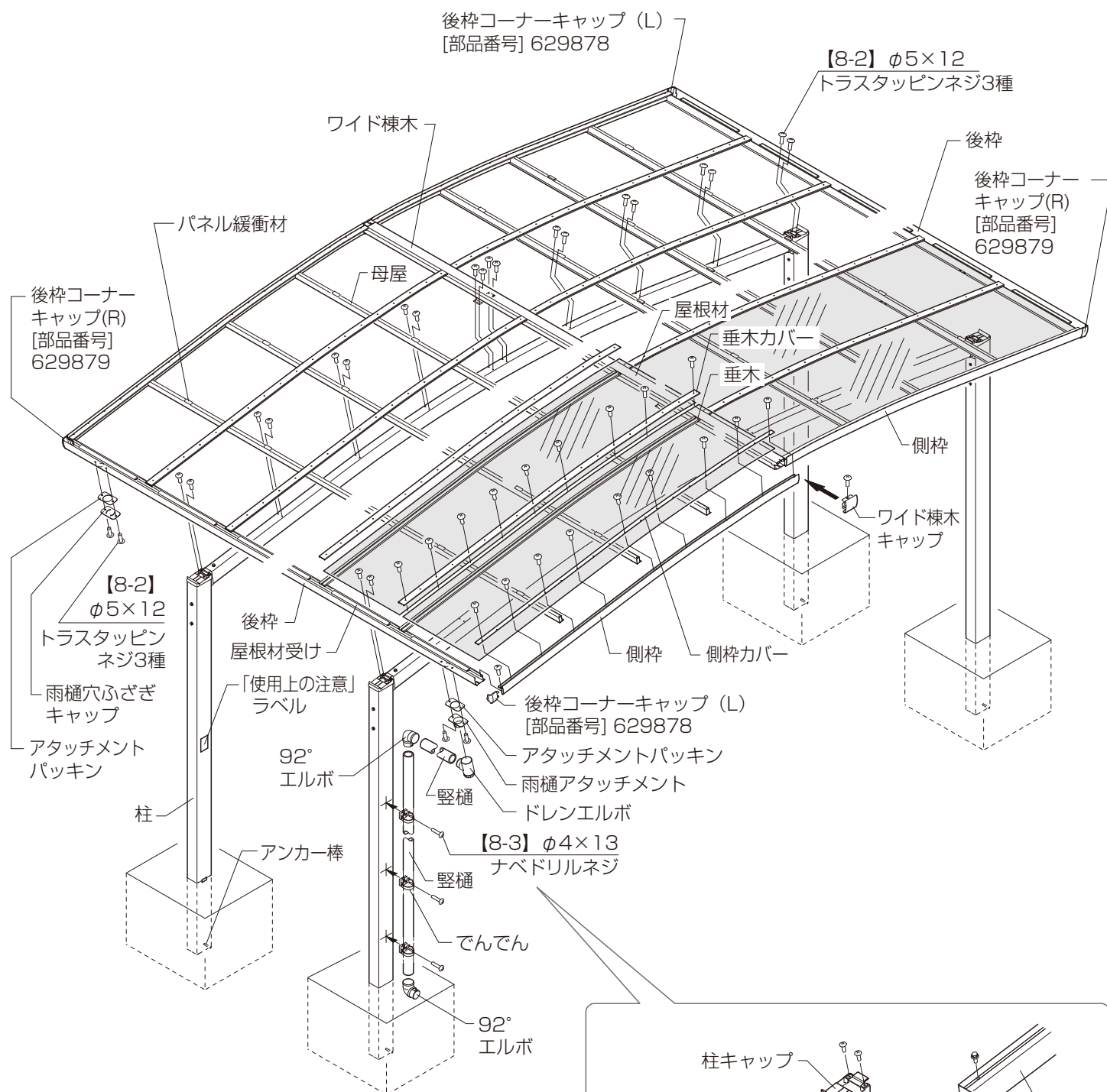
【15】エルボセット オプション		員数
名称	略図	
92°エルボ φ40用		1

【16】でんでんセット オプション		員数
名称	略図	
でんでん		2
【16-1】φ4×13 ナベドリルネジ		2

【17】アタッチメントセット オプション		員数
名称	略図	
雨樋アタッチメント		1
雨樋穴塞ぎキャップ		1
雨樋パッキン		2
【17-1】φ5×12 トラスタッピンネジ3種		4

【18】屋根材ホルダーセット オプション		員数		
名称	略図	L50	L54・57	L14
パネル抜け防止材		7	8	2
屋根材ホルダースペーサー		4	4	–
【18-1】φ5×13 ナベドリルネジ		26	26	9
屋根材ホルダー取付説明書(D614)	–	1	1	1

各部の名称

後枠コーナーキャップ（L）
[部品番号] 629878
【8-2】 φ5×12
トラスタッピンネジ3種
ワイド棟木
後枠
後枠コーナー
キャップ(R)
[部品番号]
629879
パネル緩衝材
母屋
後枠コーナー
キャップ(R)
[部品番号]
629879
屋根材
垂木カバー
垂木
側枠
ワイド棟木
キャップ
【8-2】
φ5×12
トラスタッピン
ネジ3種
後枠
屋根材受け
側枠
側枠カバー
雨樋穴ふさぎ
キャップ
「使用上の注意」
ラベル
後枠コーナーキャップ（L）
[部品番号] 629878
アタッチメント
パッキン
92°
エルボ
アタッチメントパッキン
雨樋アタッチメント
竪樋
ドレンエルボ
柱
【8-3】 φ4×13
ナベドリルネジ
アンカー棒
竪樋
でんでん
92°
エルボ
柱キャップ
梁
ブラケット
柱梁カバー
柱
【8-1】 M8×20
六角ボルト
（平座金･緩み止め付き）

基本タイプの施工

■基本の確認事項

□ 姿図

【14延長】または【縦連棟】の基礎寸法は、P.20・21も併せて参照してください。

⚠注 意

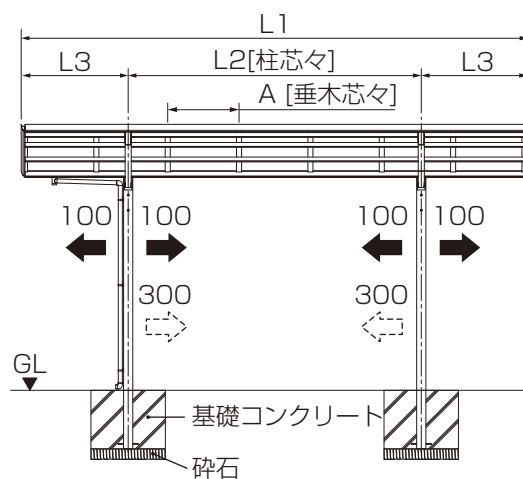
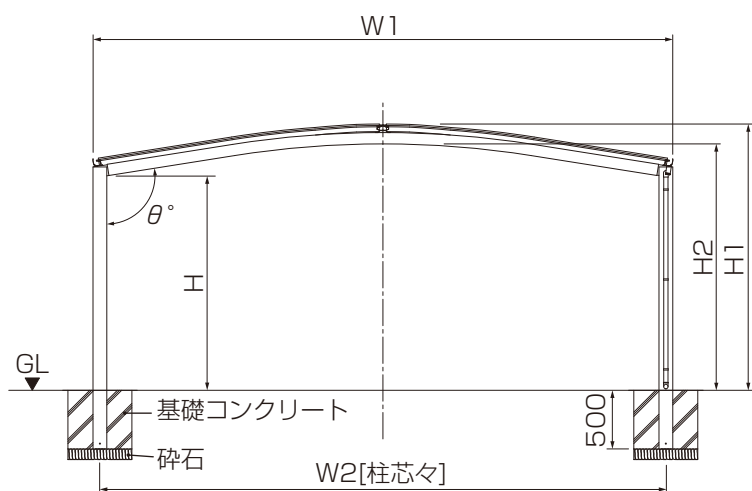
【柱移動】をした場合は
柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。

【柱内側移動】をした場合は
片側300mm以内で柱移動をしてください。
（W48～W60で施工可能です。）

お願い

・柱内の水が抜けるように必ず砕石を敷いてください。
・構造計算書を添付して建築確認申請を行なっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。

補 足

◀ 印は【柱移動】範囲を示します。
⇦ 印は【柱内側移動】範囲を示します。

サイズ(間口)	W1	W2	H1	H2	θ
W36	3624	3492	2594	2418	99
W42	4230	4098	2642	2466	99
W48	4836	4704	2690	2514	99
W51	5139	5007	2714	2538	99
W54	5442	5310	2738	2562	99
W60	6060	5928	2852	2674	102

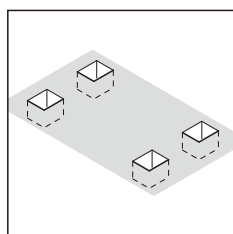
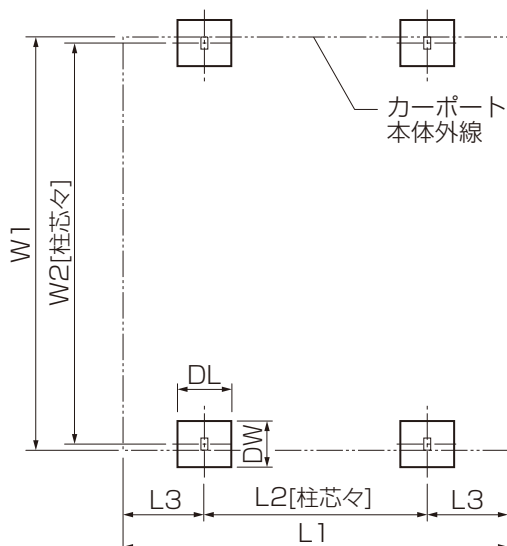
補 足

【ロング柱の場合】
H寸法に+250してください。

【H28柱の場合】
H寸法に+550してください。

	H
標準	2258
ロング柱	2508
H28柱	2808

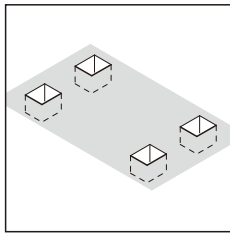
サイズ(奥行)	L1	L2	L3	A
L50	4980	2900	1040	706
L54	5382	3100	1141	668
L57	5686	3300	1193	706

□ 基礎の墨出し

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

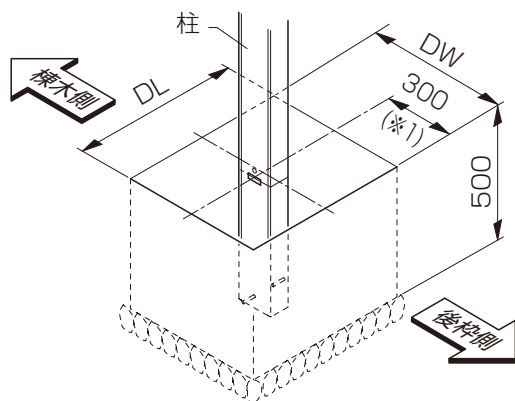
【カーポートライト】
「エスコートスポットライト 取付説明書（Z542）」
「カーポート用台座 配線カバー付 取付説明書（Z545）」
【コンセントフレーム】
「コンセントフレーム 取付説明書（D499）」

補 足

基礎寸法（DW/DL）は、P.9を参照してください。

1 基礎寸法の確認

【縦連棟】も本ページの基礎寸法を参照してください。

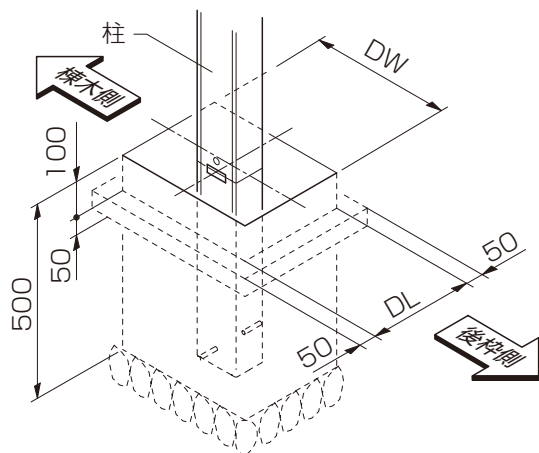
①基礎穴寸法を確認してください。

【独立基礎仕上げ】の場合の作業です。

サイズ（間口）	フーゴ		ネスカ	
	DW	DL	DW	DL
W36	700	500	600	400
W42	700	600	700	400
W48	800	600	700	600
W51	800	700	700	600
W54	800	800	700	600
W60	800	800	800	700

※DL中心位置が柱芯となります。

補足

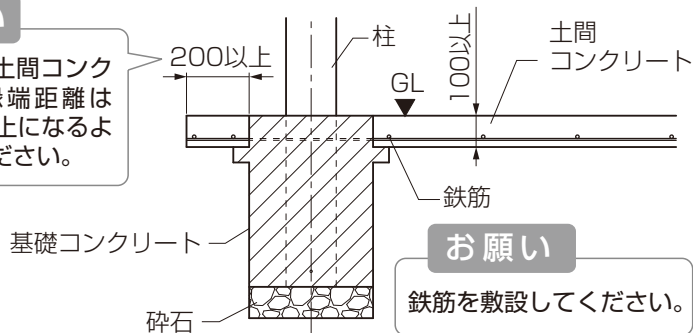
（※1）は柱芯から柱背面側の基礎端面までの寸法です。

【土間コンクリート仕上げ基礎】の場合の作業です。

サイズ（間口）	フーゴ		ネスカ	
	DW	DL	DW	DL
W36	400	350	400	300
W42	400	350	400	300
W48	400	350	400	300
W51	400	350	400	300
W54	400	350	400	300
W60	500	400	500	300

※DL・DW中心位置が柱芯となります。

お願い

基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。

お願い

鉄筋を敷設してください。

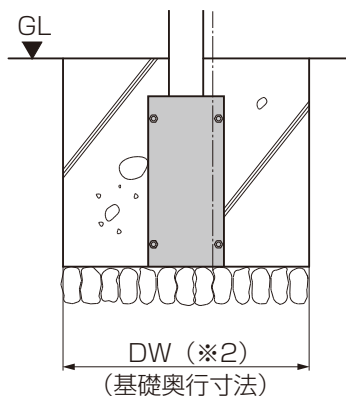
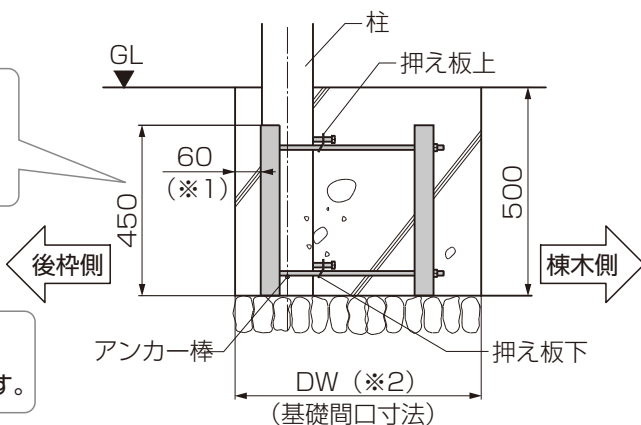
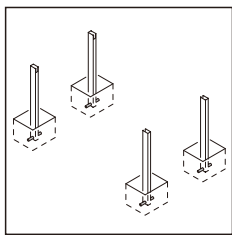
【偏芯基礎部材】を取付ける場合の作業です。

組立て方法、基礎寸法については
【偏芯基礎部材　取付説明書（D349）】も参照してください。

補足

※1はタテ材Aの外面から基礎端面の寸法です。

補足

※2は独立基礎の基礎寸法になります。

2 柱の建て込み準備

①アンカー棒を柱に差込んでください。
②柱のG.L.付近(地上側)にφ6水抜き穴をあけてください。

お願い

柱の切欠きを内側に向けてください。

柱内側

柱

お願い

【柱を建てこむ際は】

「使用上の注意」ラベルが、竪樋でかくれないように柱を建込んでください。

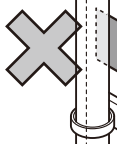
水準器

お願い

柱の垂直を確認してください。

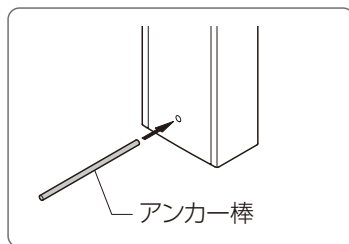
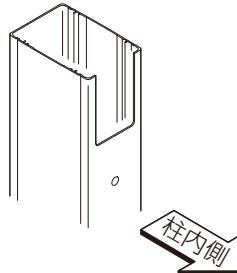
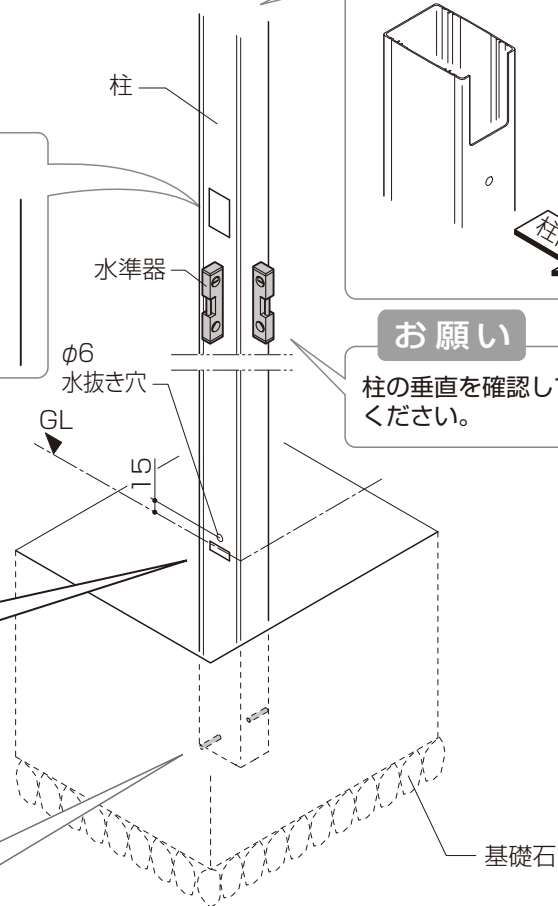
φ6
水抜き穴

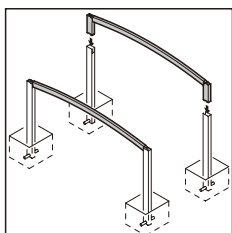
GL

15

⚠注 意

水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。

アンカー棒

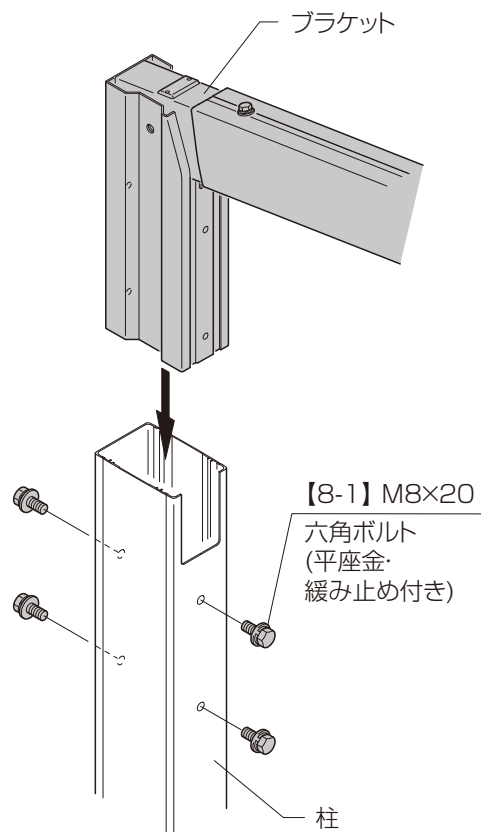
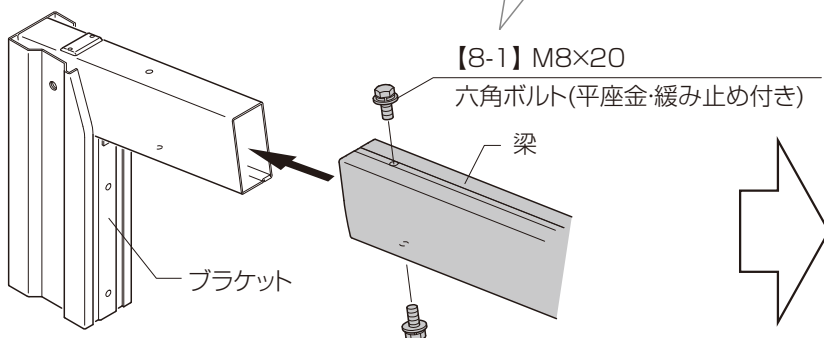
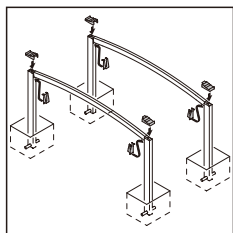
基礎石

3 柱、梁の組立て

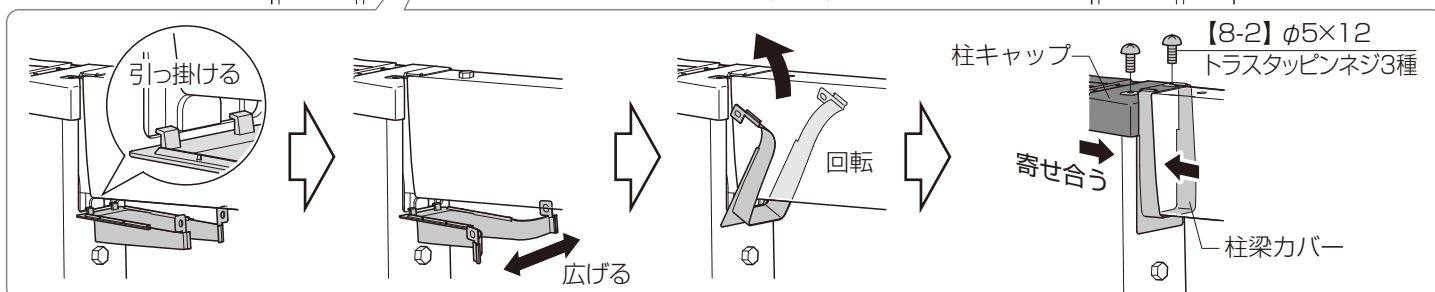
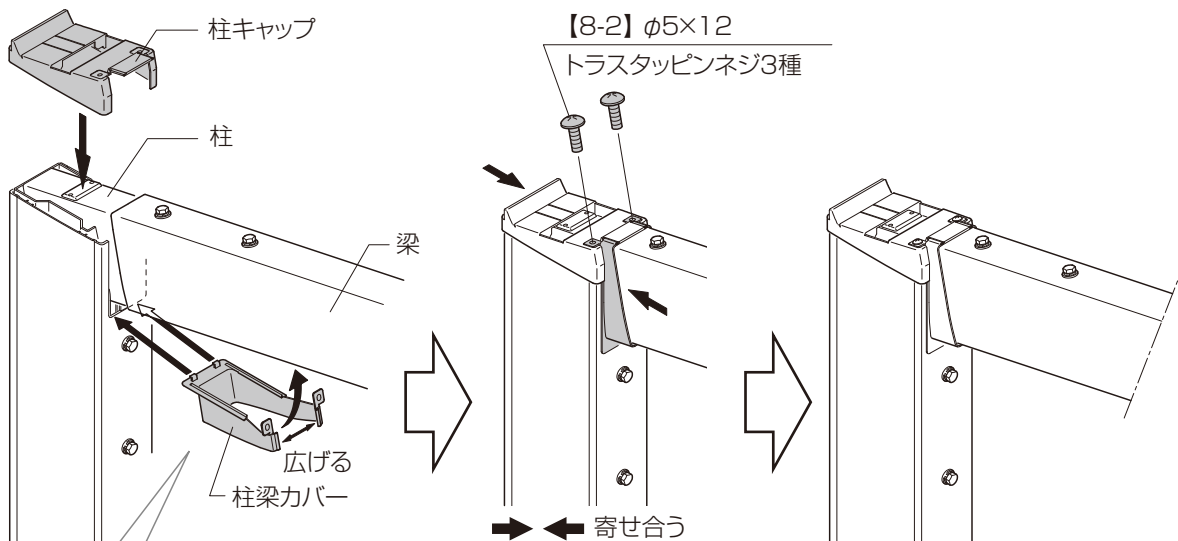
1 ブラケットと梁の取付け

①ブラケットを柱に差込み【8-1】で取付けてください。
②梁をブラケットに【8-1】で取付けてください。

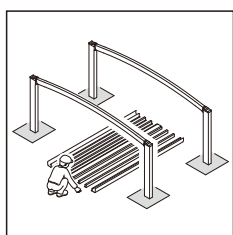
お願い

柱を固定をする前に柱間の対角寸法を確認してください。

お願い

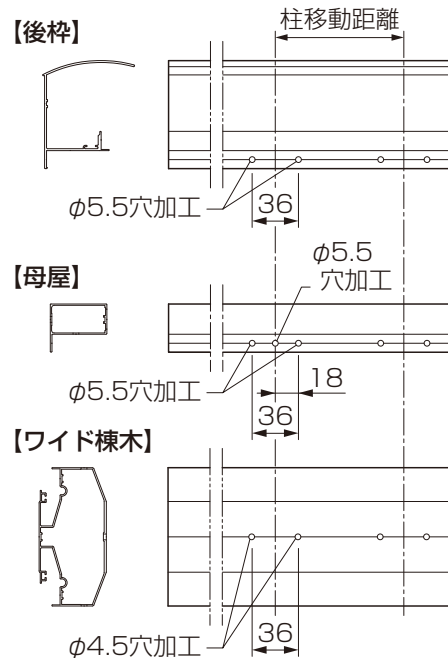
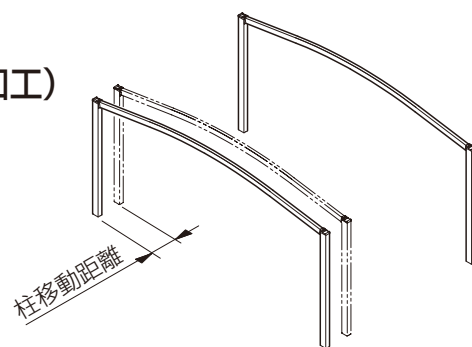
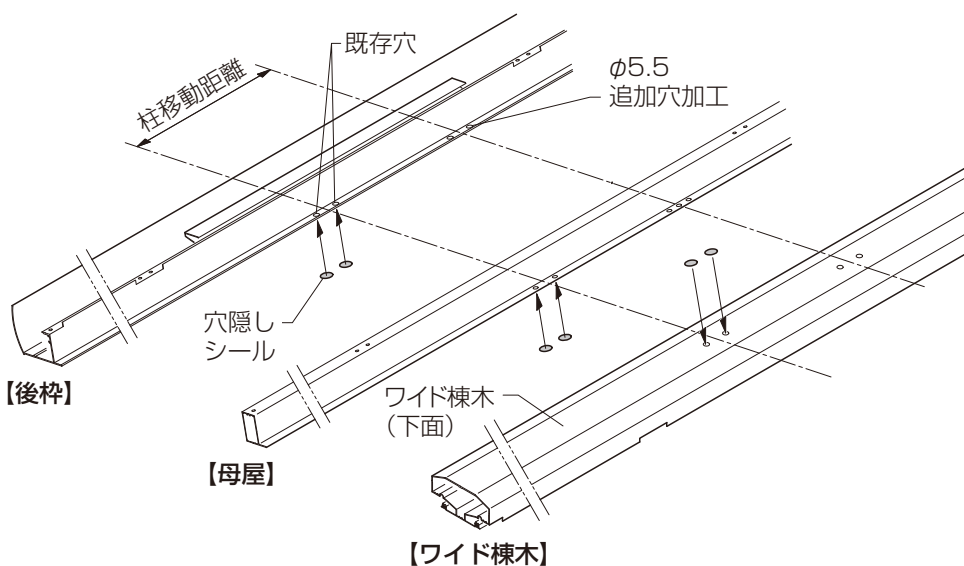
緩み止め硬化後にボルトを「緩めたり、締めたり」しないでください。緩みやすくなる場合があります。
(締付け後、約24時間で硬化します。)

2 柱キャップ・柱梁カバーの取付け

①柱キャップを柱にはめ込んでください。
②柱梁カバーを柱の切欠き部にはめ込んでください。
③柱梁カバーを柱キャップに【8-2】で取付けてください。

補足
この段階では、柱キャップ・柱梁カバーは多少ガタつきます。

4 部材の加工

柱移動、柱内側移動の場合（移動した柱、梁へ取付ける部材の加工）

【柱移動】
【柱内側移動】の場合の作業です。

①部材に穴加工を行なってください。
②既存穴に穴隠しシールを貼り付けてください。

□ 柱内側移動の場合（母屋補強材の取付け）

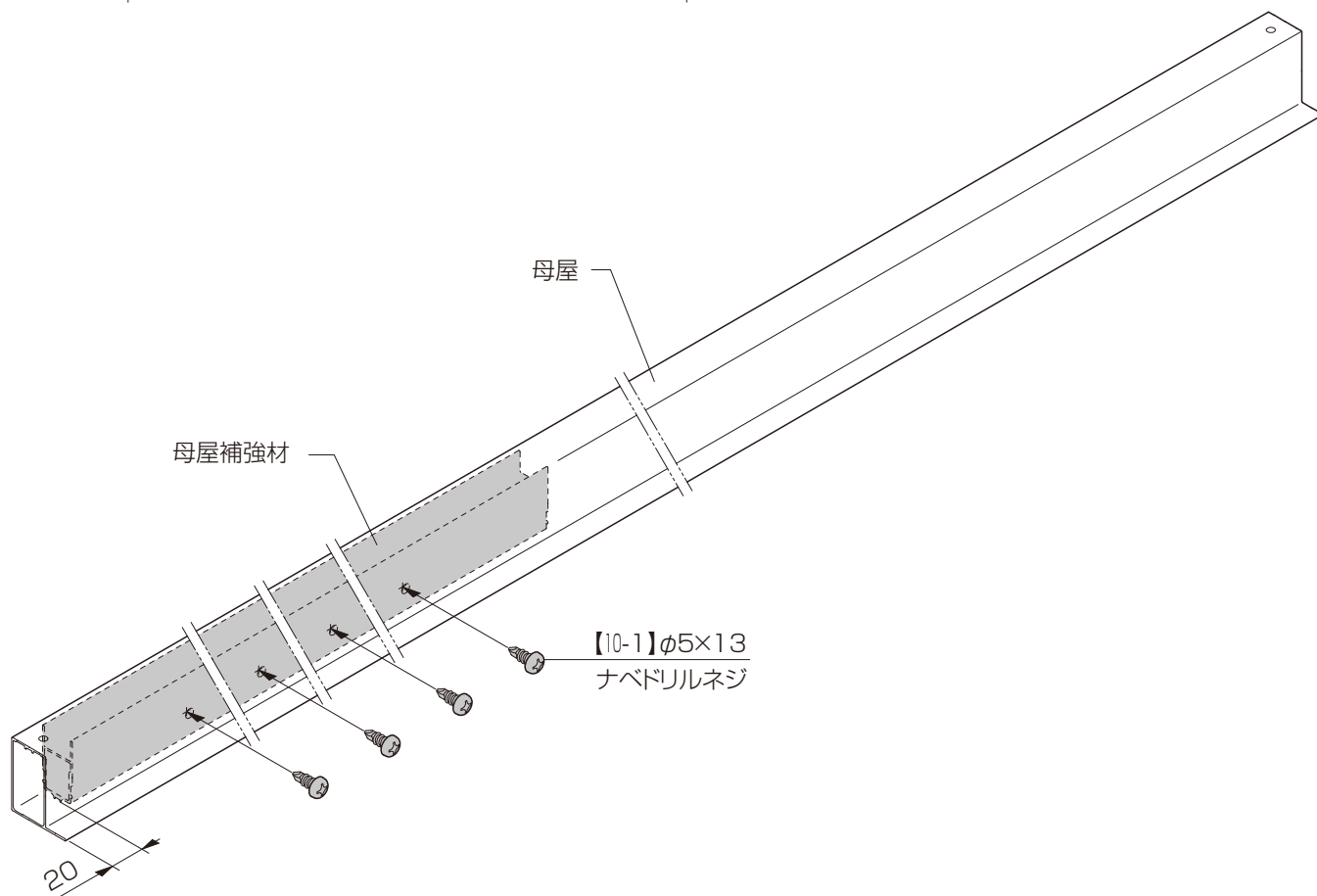
【柱内側移動】の場合の作業です。
（柱移動側の補強作業です。）

①母屋の側面にφ5.5の追加穴をあけてください。（4ヶ所）
②母屋補強材の側面にφ4.5の追加穴をあけてください。（1ヶ所）
③母屋補強材を母屋へ差し込み、【10-1】で取付けてください。

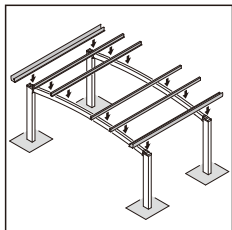
お願い
柱移動した側の母屋に補強材を挿入する加工をしてください。

お願い
フィン側の側面に穴をあけてください。

【母屋】
1900
1300
700
100
フィン部
φ5.5穴加工（4ヶ所）
V溝
20

【母屋補強材】
φ4.5穴加工
V溝
80
母屋補強材全長：2000

母屋
母屋補強材
【10-1】φ5×13
ナベドリルネジ
20

5 後枠・母屋・ワイド棟木の取付け

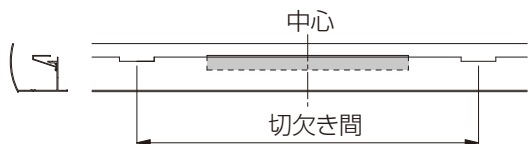
1 後枠・母屋の取付け

【縦連棟・14延長】の場合は、P.22·23も事前に確認してください。

【スマート雨樋仕様】の場合は、後枠内側に部品を取付けます。【スマート雨樋 取付説明書（D608）】を参照してください。

①後枠をブラケットに【8-2】で取付けてください。
②パネル緩衝材を母屋に貼り付けてください。
③母屋を梁に【8-2】で取付けてください。

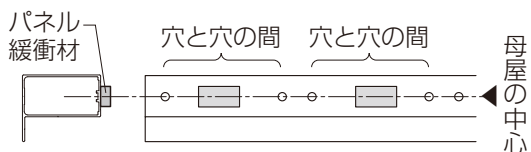
お願い

屋根材受けを下図の位置に移動させてください。

中心
切欠き間

【8-2】φ5×12 トラスタッピンネジ3種
屋根材受け
パネル緩衝材
ブラケット
後枠

お願い

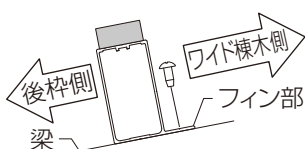
パネル緩衝材は下図の位置に貼り付けてください。

パネル緩衝材
穴と穴の間
穴と穴の間
母屋の中心

お願い

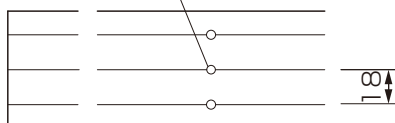
母屋のフィンはワイド棟木側に向けてください。

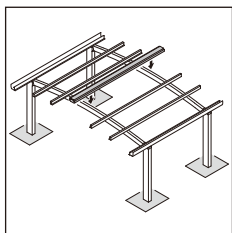
後枠側
ワイド棟木側
フィン部
梁

【柱移動】・【柱内側移動】の場合の作業です。

柱移動　柱内側移動　OP オプション

梁にφ4.5の追加穴をあけて、母屋と梁に【10-1】で追加固定をしてください。

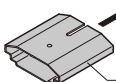
【梁】

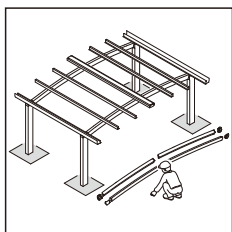
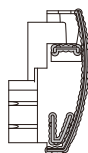
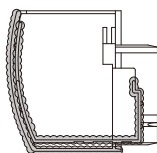
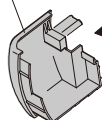
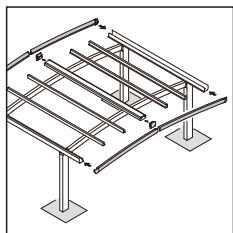
φ4.5穴加工（母屋部）
18

【10-1】φ5×13 ナベドリルネジ
【8-2】φ5×12 トラスタッピンネジ3種
母屋

2 ワイド棟木の取付け

【縦連棟・14延長】の場合は、P.22·23も事前に確認してください。

①ワイド棟木取付金具をワイド棟木の下面に【8-2】で取付けてください。
②ワイド棟木を梁に【8-2】で取付けてください。

【柱内側移動】の場合の作業です。

ワイド棟木補強材をワイド棟木に差し込み、【8-2】で共締めして取付けてください。

6 側枠の取付け

1 後枠コーナーキャップの取付け

①後枠コーナーキャップにシーリング材を充てんしてください。
②後枠コーナーキャップを側枠にはめ込んでください。

2 側枠の取付け

①ワイド棟木キャップをワイド棟木に取付けてください。
②ワイド棟木キャップにシーリング材を充てんしてください。
③側枠を後枠・母屋・ワイド棟木に【8-2】で取付けてください。

お願い

ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。

ネジの浮き

ネジの傾き

ネジの浮き・傾きなし

シーリング

【8-2】φ5×12
トラスタッピンネジ3種

ワイド棟木
キャップ

ワイド棟木

【8-2】φ5×12
トラスタッピン
ネジ3種

側枠

側枠

シーリング

側枠

後枠

母屋

側枠

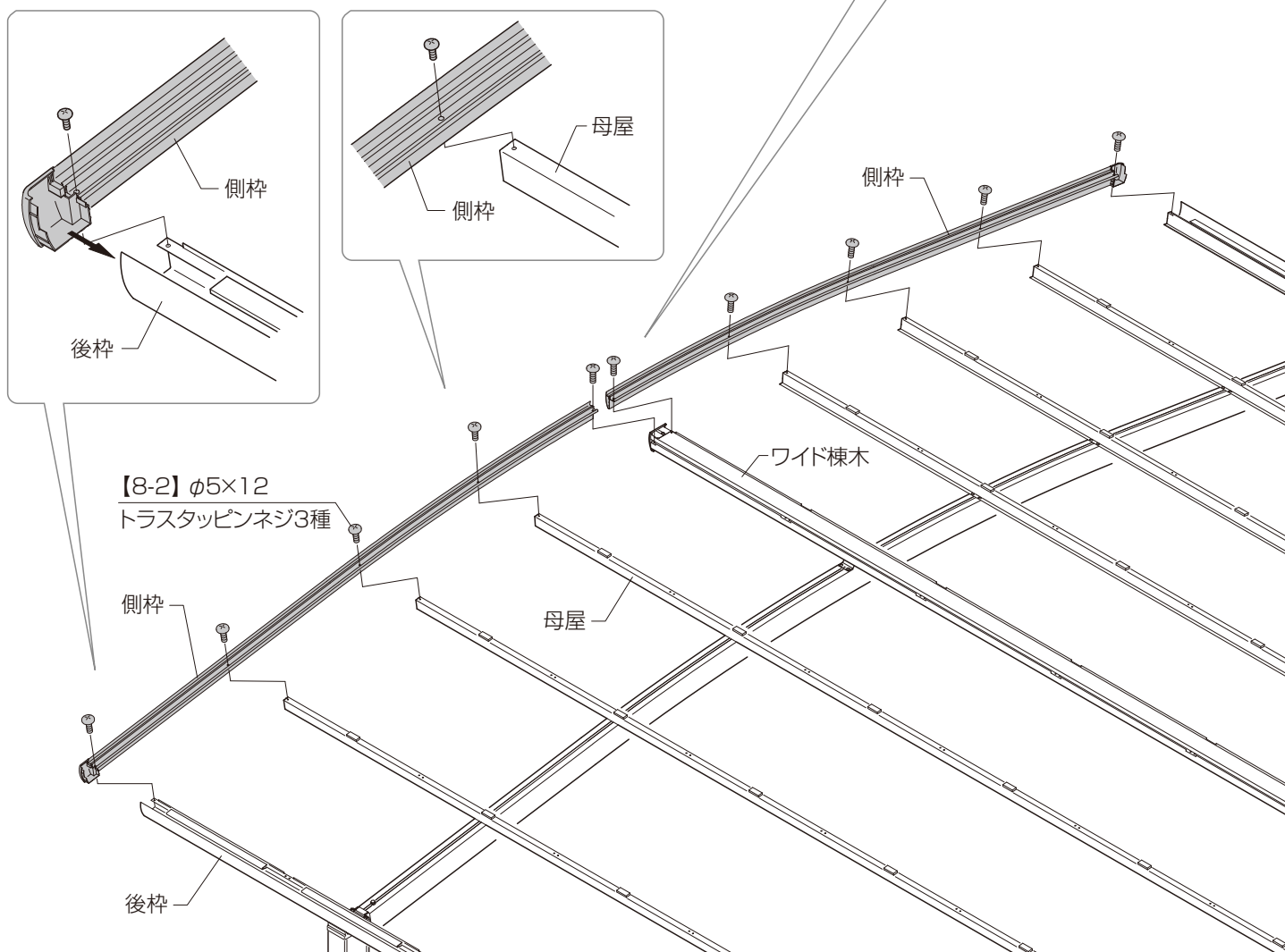
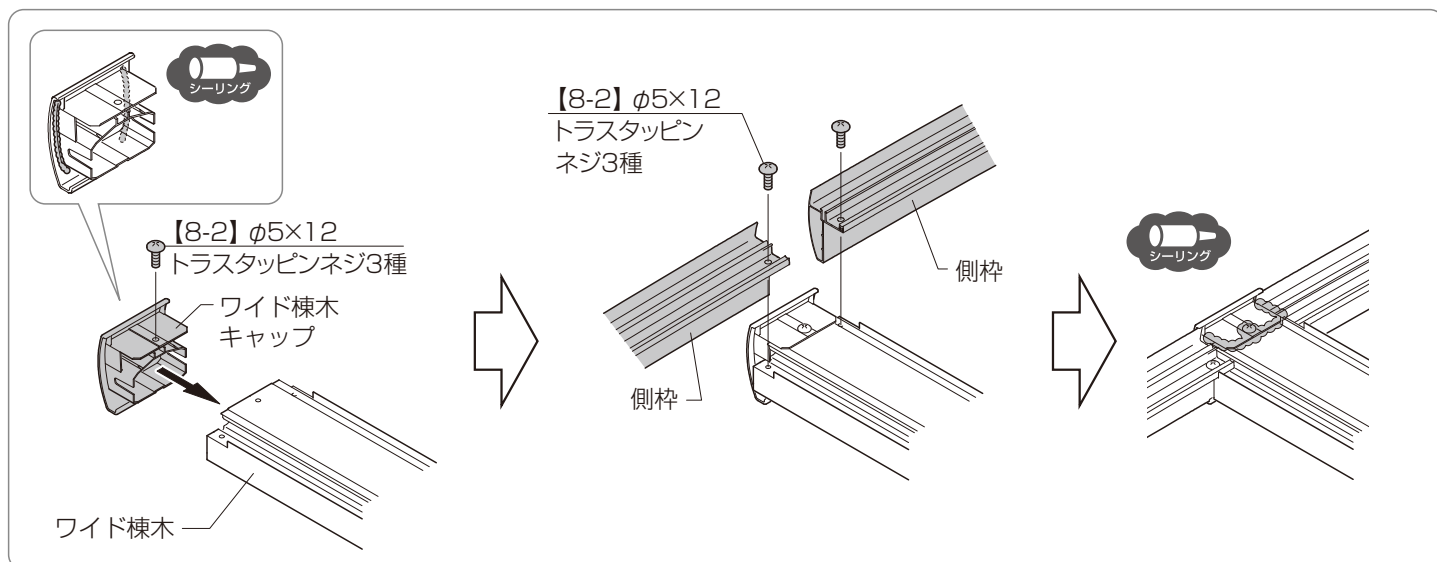
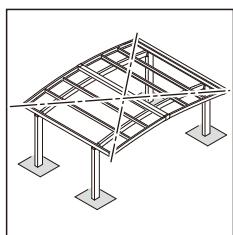
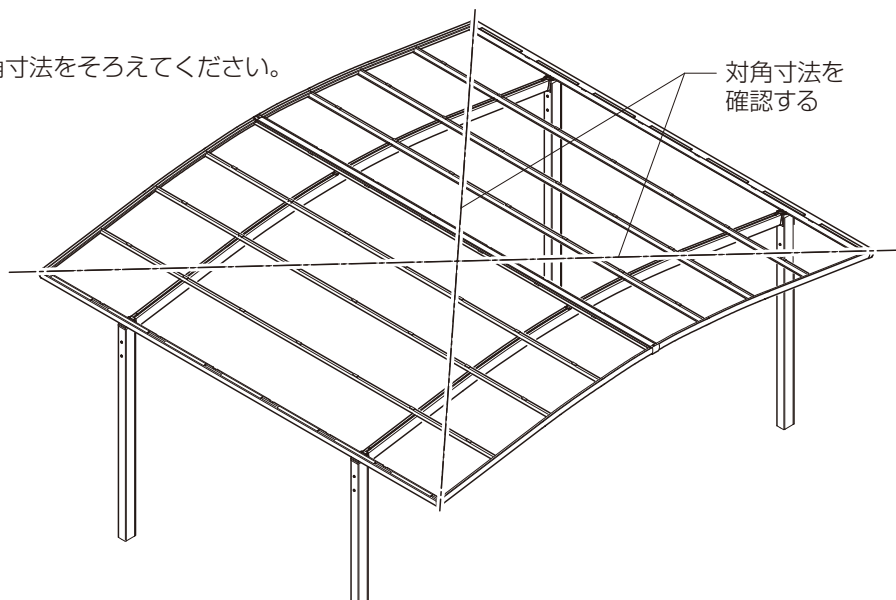
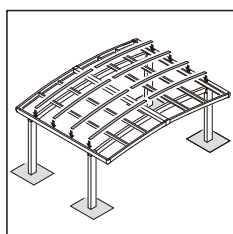
側枠

ワイド棟木

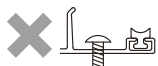
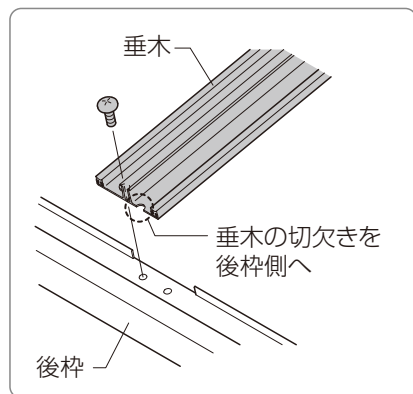
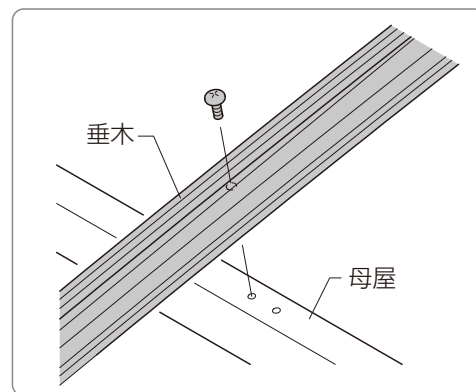
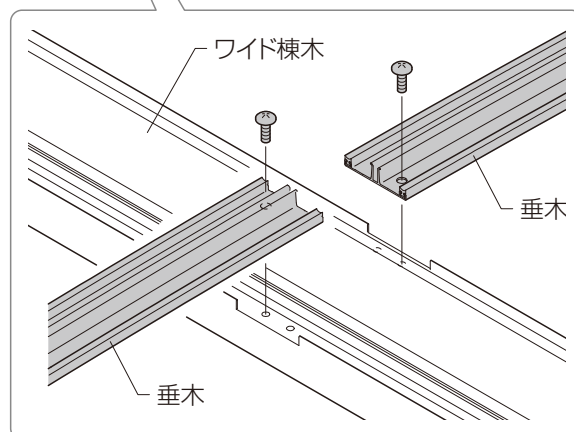
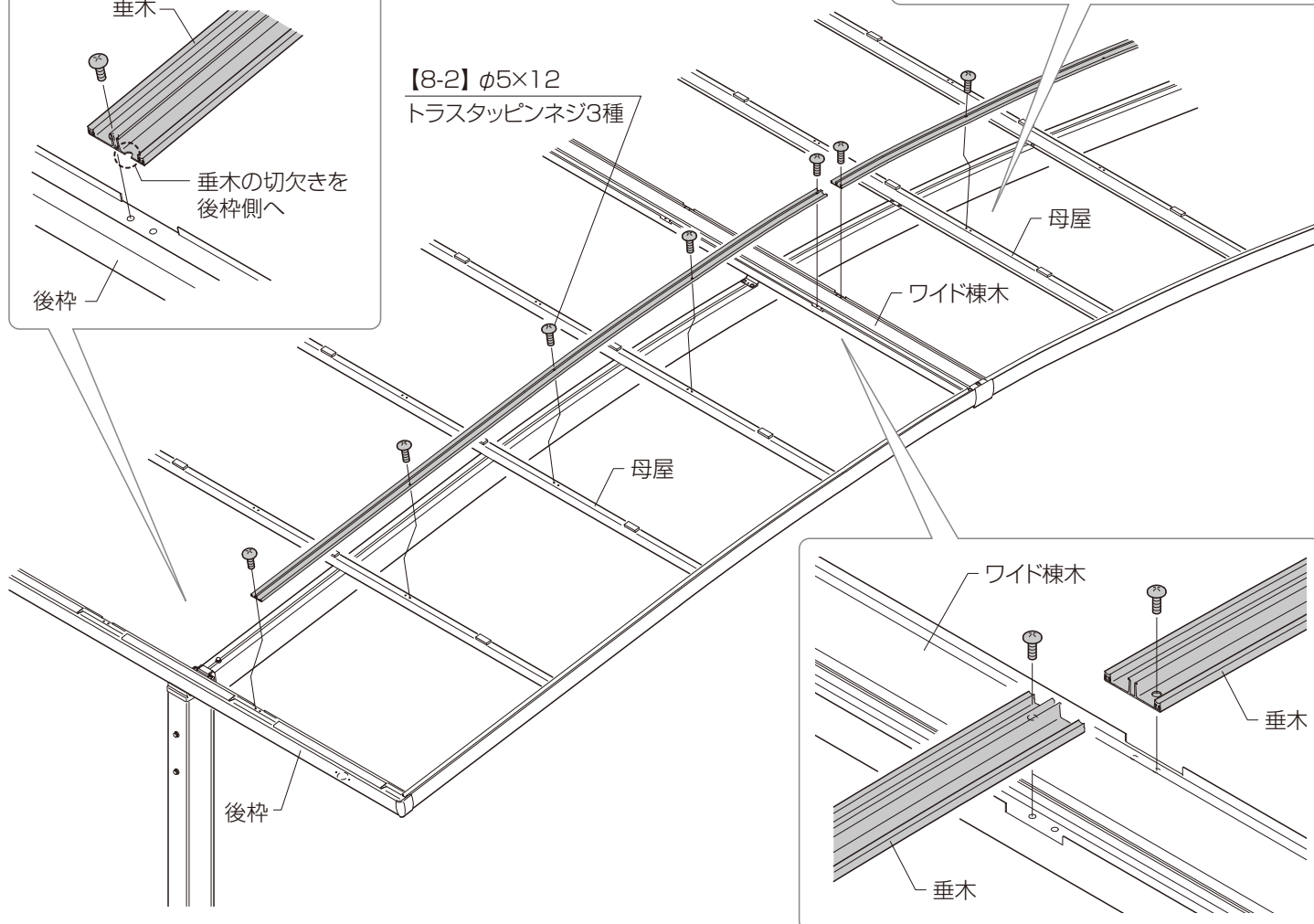
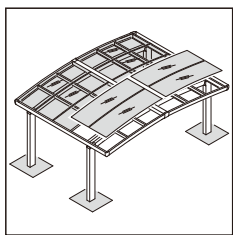
【8-2】φ5×12
トラスタッピンネジ3種

側枠

母屋

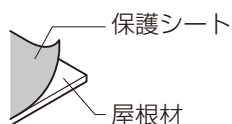
後枠

7 対角寸法の確認

①屋根枠まわりの対角寸法をそろえてください。

8 垂木の取付け

①垂木を後枠･母屋･ワイド棟木に【8-2】で取付けてください。

お願い

ネジの浮き･傾きがないように取付けてください。

9 屋根材の取付け

①屋根材をワイド棟木のカバー部に差し込み、後枠の屋根材受けに差込んでください。

お願い

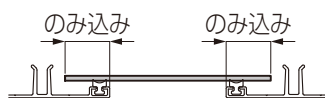
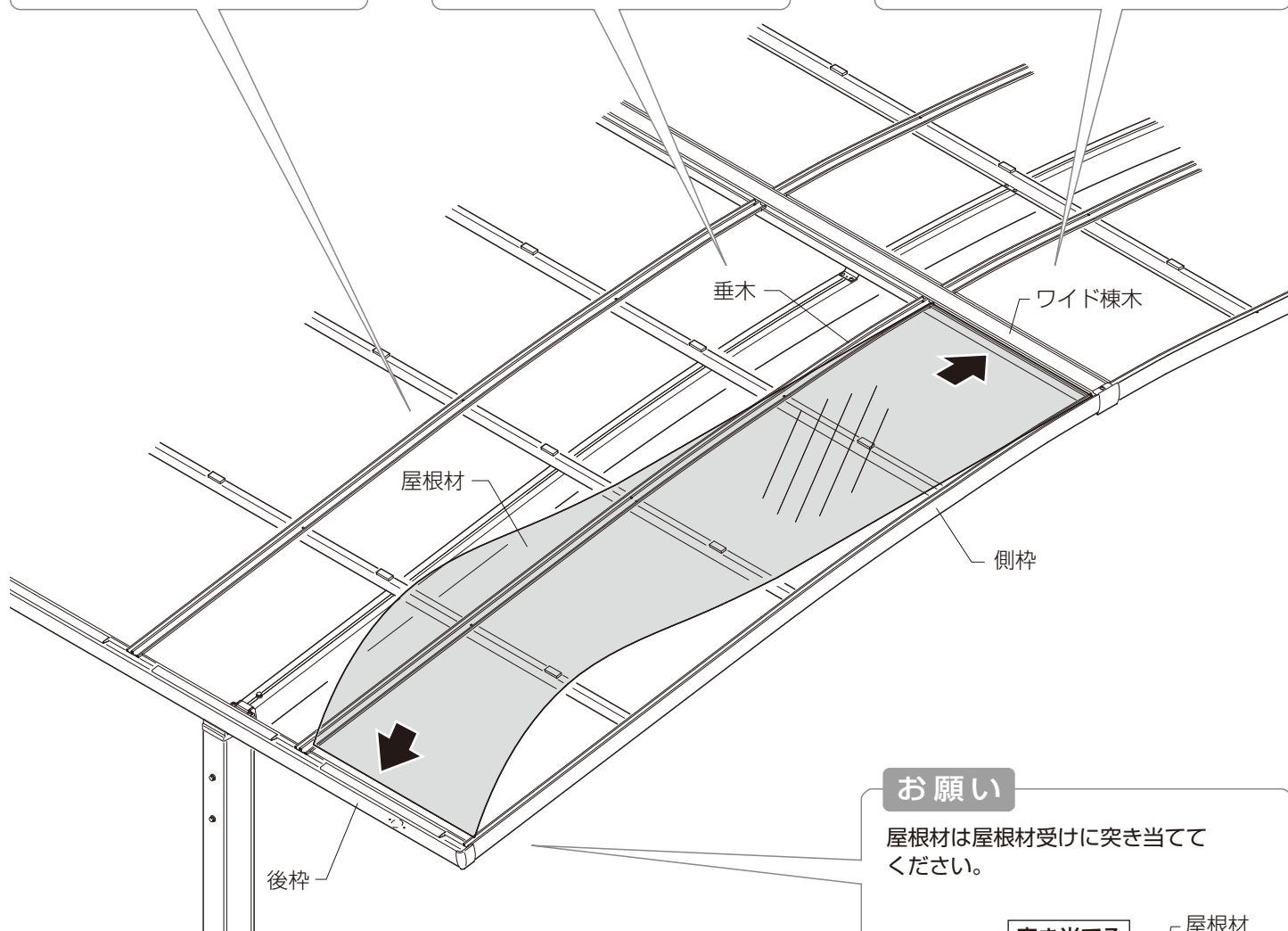
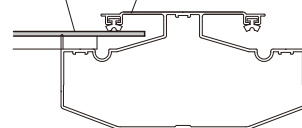
屋根材は必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてから取付けてください。

保護シート
屋根材

お願い

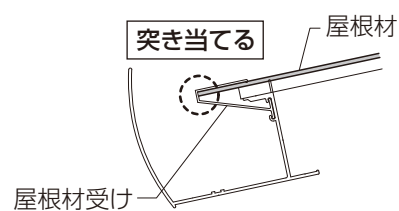
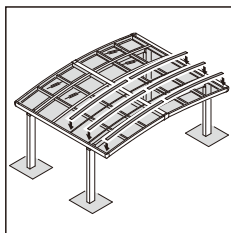
垂木部の屋根材のみ込み寸法は左右均等にしてください。

のみ込み
のみ込み

屋根材
ワイド棟木のカバー部

垂木
ワイド棟木
屋根材
側枠
後枠

お願い

屋根材は屋根材受けに突き当ててください。

突き当てる
屋根材
屋根材受け

10 側枠カバー・垂木カバーの取付け

①垂木カバー・側枠カバーを、垂木・側枠に【8-2】で取付けてください。
②垂木カバー・側枠カバーにシーリング材を充てんしてください。
③ワイド棟木キャップをワイド棟木に取付けてください。
④ワイド棟木キャップにシーリング材を充てんしてください。

お願い

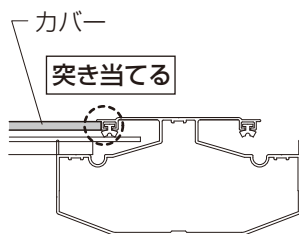
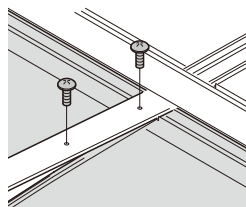
ネジの浮き･傾きがないように取付けてください。

お願い

【取付ける際は】

･ワイド垂木側から取付けてください。

･ワイド垂木に突き当てて取り付けてください。

カバー

突き当てる

お願い

【取付ける際は】

垂木と垂木カバーがかみ合っていることを確認してください。

かみ合わせる

ワイド棟木

垂木カバー

【8-2】 ϕ5×12
トラスタッピンネジ3種

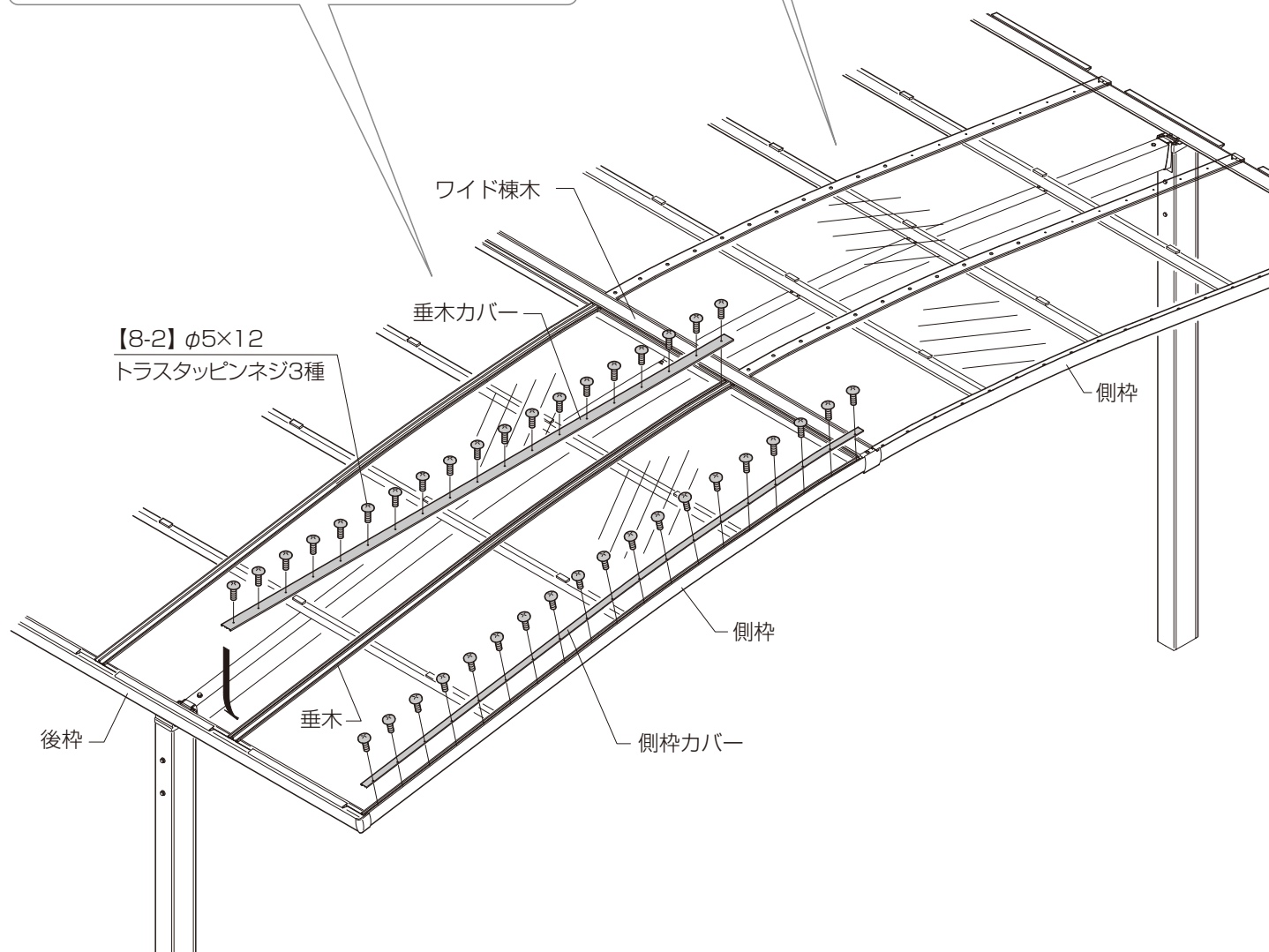
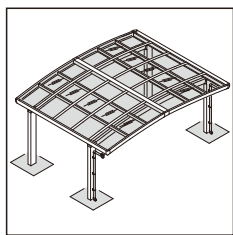
側枠

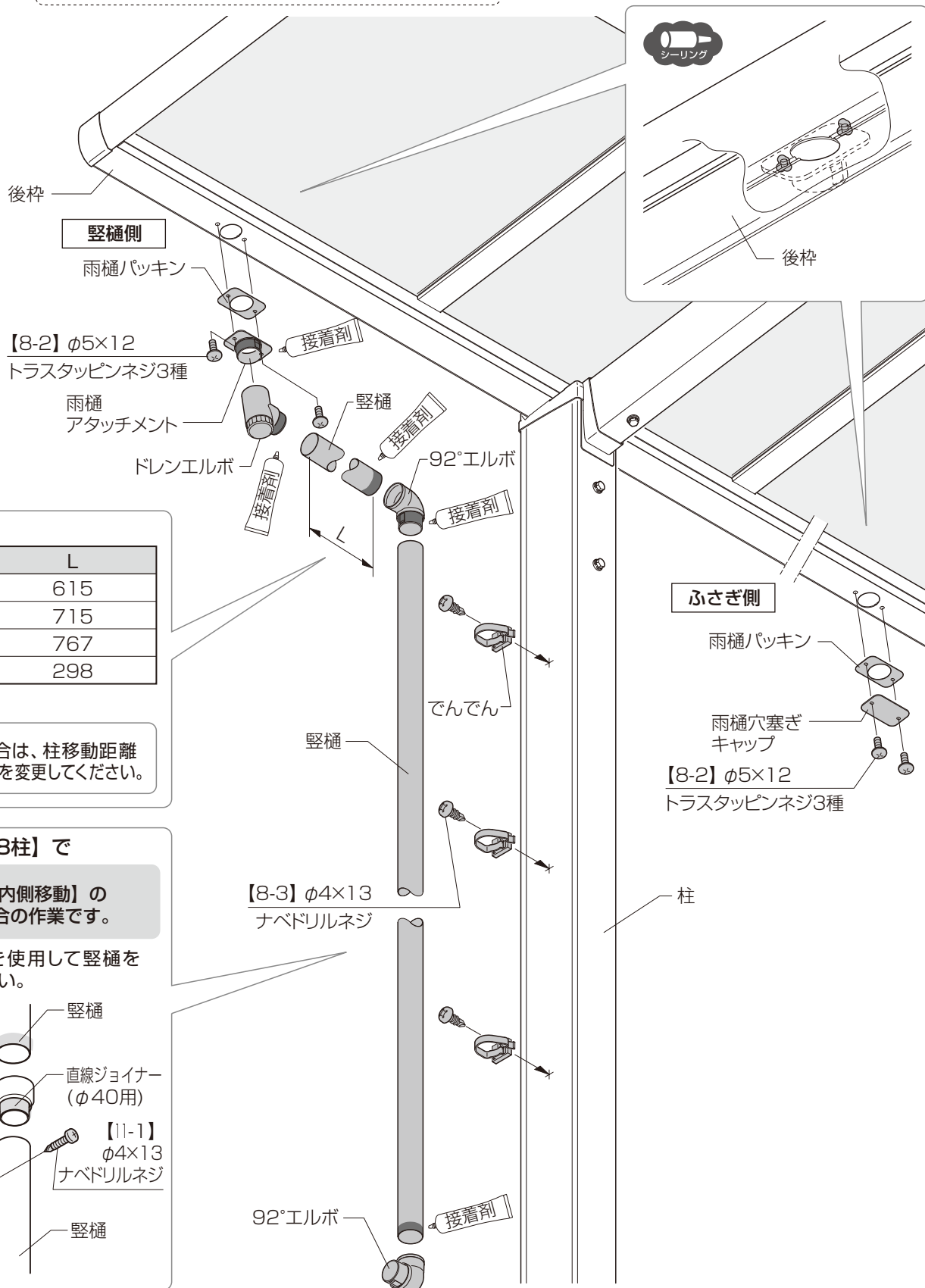
側枠

後枠

垂木

側枠カバー

11 竪樋の取付け

①竪樋を切断してください。
②後枠片方の水抜き穴に「雨樋パッキン」、「雨樋アタッチメント」を【8-2】で取付けてください。
③柱に「でんでん」を【8-3】で取付けてください。
④「ドレンエルボ」、「竪樋」、「92°エルボ」を接着剤で取付けてください。
⑤逆側の水抜き穴に「雨樋パッキン」、「雨樋穴塞ぎキャップ」を【8-2】で取付けてください。
⑥後枠内のネジ部にシーリング材を充てんしてください。

スマート雨樋の取付けの場合は、
【スマート雨樋 取付説明書（D608）】も参照してください。

竪樋切断寸法

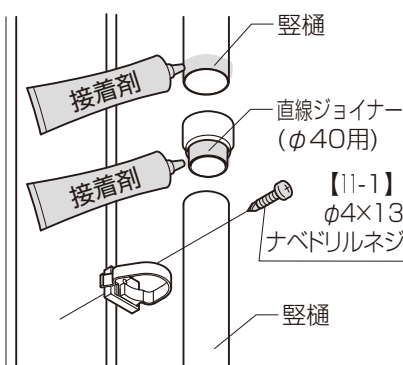
サイズ（奥行）	L
L50	615
L54	715
L57	767
L14	298

お願い

柱を移動した場合は、柱移動距離にあわせて、L寸法を変更してください。

【ロング柱・H28柱】で

柱内側移動 OP オプション
【柱内側移動】の場合の作業です。

直線ジョイナーを使用して竪樋を延長させてください。

縦連棟タイプの施工

【縦連棟】または【14延長】の場合の作業です。

■縦連棟の確認事項

□ 姿図

【縦連棟】の場合の作業です。

⚠注意

【柱移動】をした場合は
柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。

【柱内側移動】をした場合は
片側300mm以内で柱移動をしてください。
（W48～W60で施工可能です。）

お願い

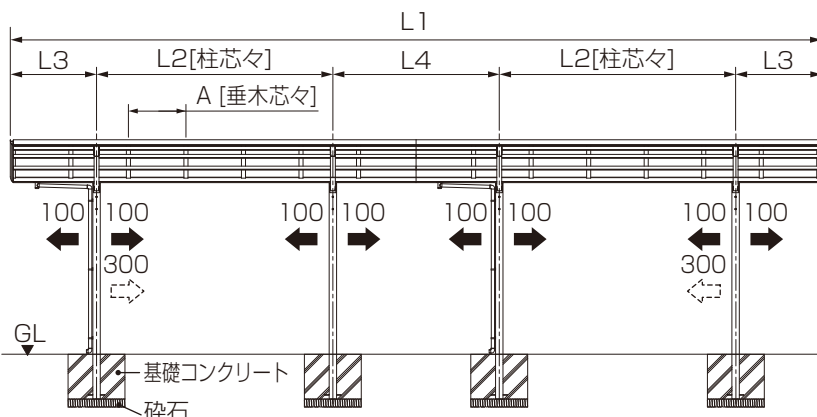
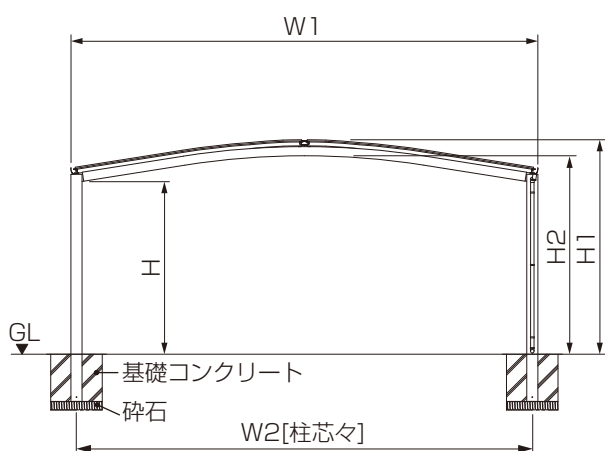
柱内の水が抜けるように必ず砕石を敷いてください。

補足

⬅ 印は【柱移動】範囲を示します。
⇦ 印は【柱内側】移動範囲を示します。

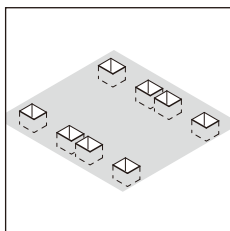
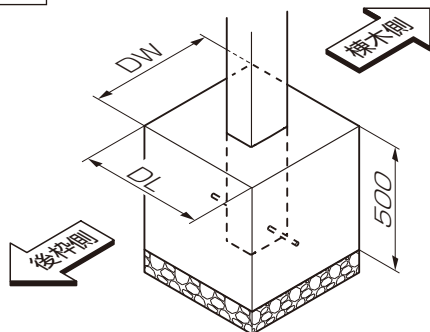
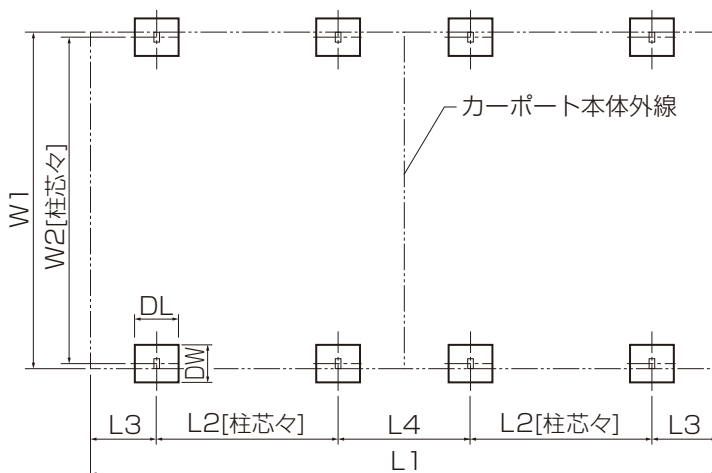
補足

【ロング柱の場合】
H寸法に+250してください。

【H28柱の場合】
H寸法に+550してください。

サイズ(間口)	W1	W2	H1	H2
W36	3624	3492	2594	2418
W42	4230	4098	2642	2466
W48	4836	4704	2690	2514
W51	5139	5007	2714	2538
W54	5442	5310	2738	2562
W60	6060	5928	2852	2674

	H
標準	2258
ロング柱	2508
H28 柱	2808

サイズ(奥行)	L1	L2	L3	L4	A
L50+50	9922	2900	1040	2042	706
L54+54	10726	3100	1141	2244	668
L57+57	11334	3300	1193	2348	706

□ 基礎の墨出し

①柱の埋込み位置を出して、
基礎穴を掘ってください。

【基礎寸法数値について】
基礎寸法「DW」「DL」は『P.9』を参照してください。

■14延長の確認事項

□ 姿図

【14延長】の場合の作業です。

⚠注 意

【柱移動】をした場合は
柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。

【柱内側移動】をした場合は
片側300mm以内で柱移動をしてください。
（W48～W60で施工可能です。）

お願い

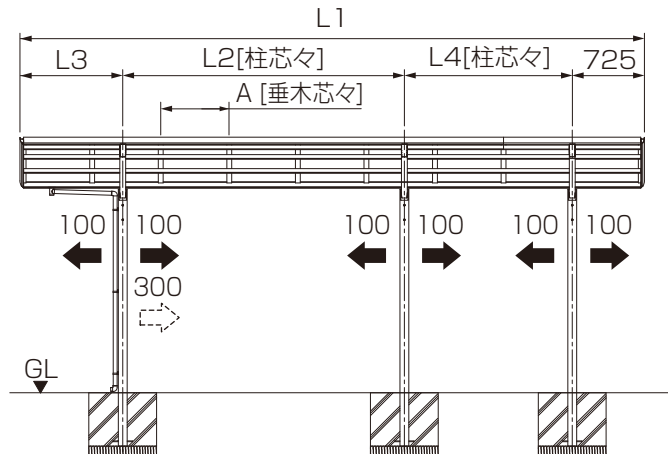
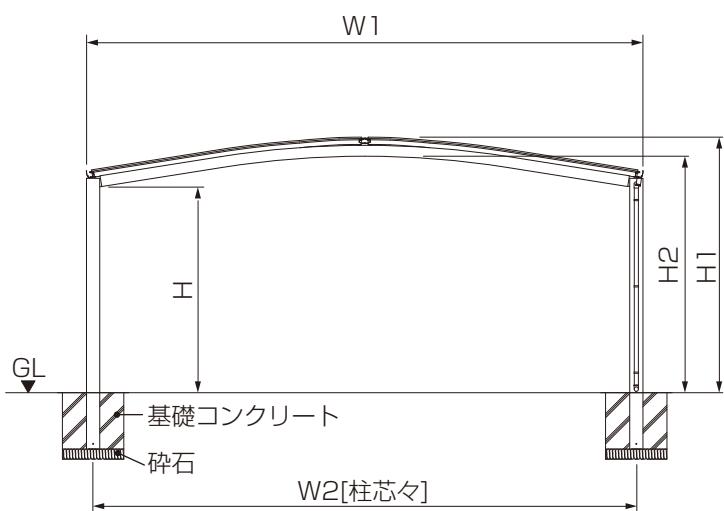
柱内の水が抜けるように必ず砕石を敷いてください。

補 足

⬅ 印は【柱移動】範囲を示します。
⇦ 印は【柱内側】移動範囲を示します。

補 足

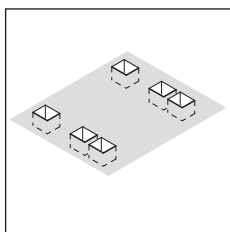
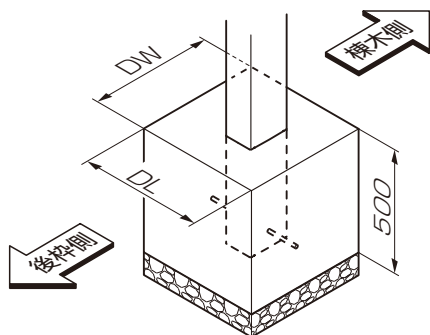
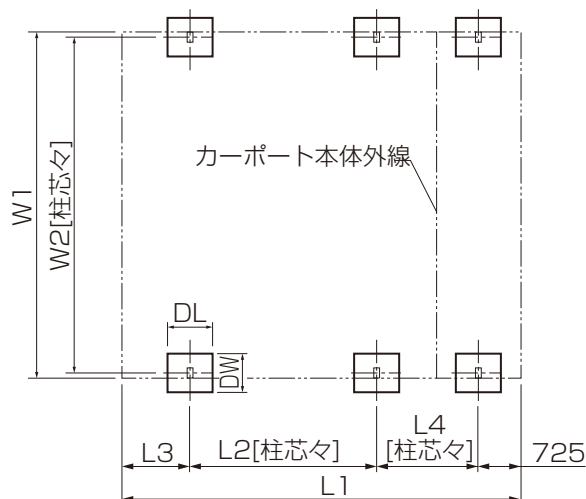
【ロング柱の場合】
H寸法に+250してください。

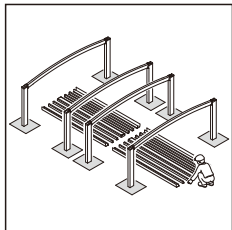
【H28柱の場合】
H寸法に+550してください。

サイズ(間口)	W1	W2	H1	H2
W36	3624	3492	2594	2418
W42	4230	4098	2642	2466
W48	4836	4704	2690	2514
W51	5139	5007	2714	2538
W54	5442	5310	2738	2562
W60	6060	5928	2852	2674

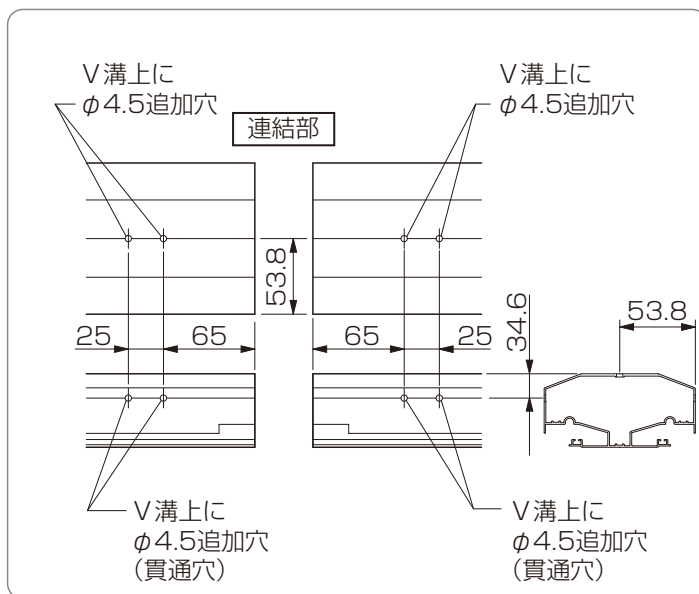
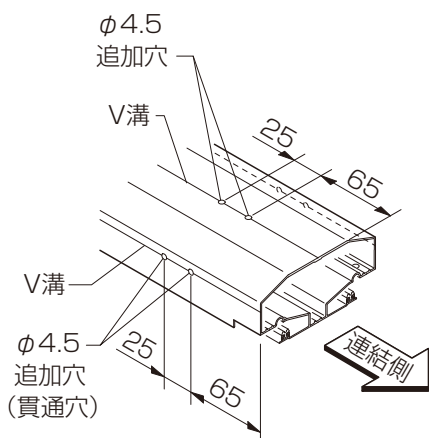
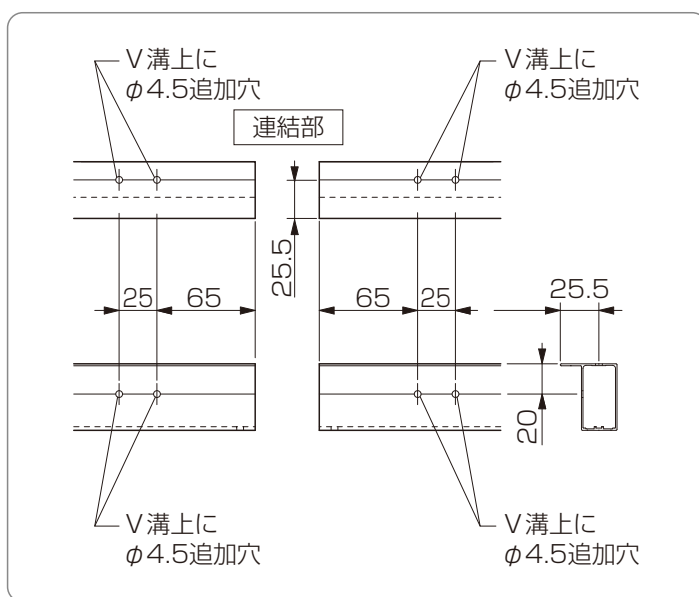
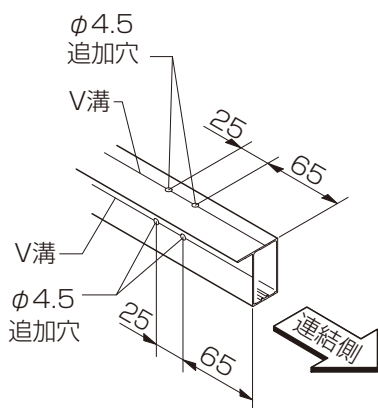
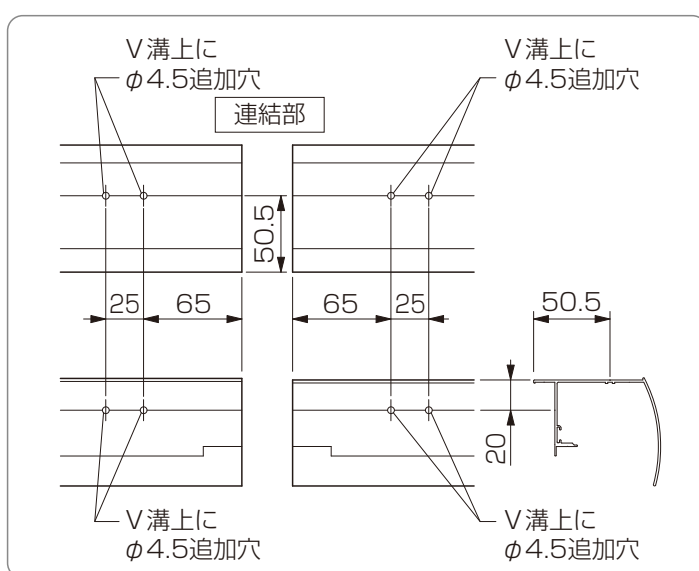
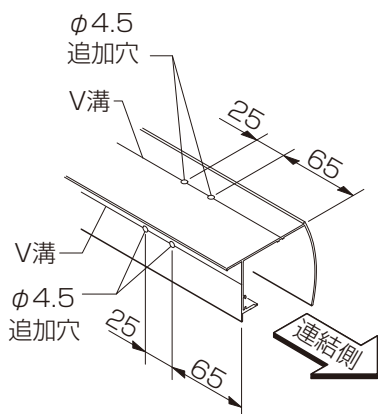
	H
標準	2258
ロング柱	2508
H28柱	2808

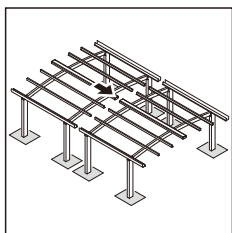
サイズ(奥行)	L	L3	L2	L4	A
L50+14	6392	1040	2900	1727	706
L54+14	6794	1141	3100	1828	668(706)※1
L57+14	7098	1193	3300	1880	706

※1：L54+14型の場合、14延長側のピッチAは706になります。

□ 基礎の墨出し

①柱の埋込み位置を出して、
基礎穴を掘ってください。

【基礎寸法数値について】
基礎寸法「DW」「DL」は『P.9』を参照してください。

1 連結部の加工

□ 連棟部の加工（連結スリーブ取付用の穴加工）

①後枠･ワイド棟木･母屋の連結側にφ4.5の追加穴をあけてください。

●ワイド棟木【下面から見る】

●母屋【下面から見る】

●後枠【下面から見る】

2 連結部の取付け

1 連棟部の連結

①後枠スリーブを取付けるネジ【12-1】にシーリング材を充てんしてください。
②ワイド棟木・母屋・後枠に、それぞれのスリーブを【12-1】で取付けて連結してください。
③後枠の切欠き部と各部材の連結部分にシーリング材を充てんしてください。
④連結部分に垂木を【12-1】で取付けてください。
⑤ワイド棟木の接続部分に止水パッキンを貼付けてください。